

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2020.3 No.356

ハンガーゼロ・ニュース

最終のご案内です!! ファシトレ参加者募集

国際協力を目指す人の学び
3月16日から20日までの日程
で開催する「ハンガーゼロ・ファシリテーター・トレーニングキャンプ at TCU」(東京基督教大学内)の参加者を募集しています。

将来、途上国の人々と共に生き、働きたいと願っておられる方のためのキャンプです。共同生活をしながら専門的な講義とグループワークで楽しく学べます。

参加費：3万円(宿泊・食費込み。会場までの交通費は除く)

お問合せは、大阪事務所まで



人気のコーヒー3点セット ~異なる味と香りを楽しめます~

レギュラーコーヒー(粉)

品名：①モーニングブレンド

②スマトラ③モカブレンド

原料産地：インドネシア、ニカラグア
エチオピアなど

各200g入り、3点

合計2,700円を送料、

税込3,000円でお届け

します。

【お支払い】後払い

お申し込み：(株)キングダムビジネス

スマートフォンは上記QRコードから

電話注文：06-6755-4877



書き損じ「年賀はがき」で協力 お年玉当選切手シートも大歓迎!

書き損じた「年賀状」やポストに未投函のはがき、消印のない未使用切手がありましたら、大阪事務所までお送りください。国内外の通信に用いさせていただきます。

※以下のものは不可となります。

書き込み、宛名面左上の料金を表す部分に汚れなどがあるもの、印刷会社に発注した裏面が光沢写真仕様のもの、私製ハガキ。き損じた切手。

【2019年実績】

はがき：325,047円分

未使用切手：202,032円分

引っ越しや家財整理の際は 本 de リンクを活用ください 支援になります

愛知事務所では送られた本やCD・ゲームソフトを換金して、飢餓・貧困に苦しむ人々の支援に使わせて頂いています。引っ越し、大掃除の際にもぜひお送りください。

ご利用の際はまず愛知事務所へお問合せください。

【2019年7月~11月実績】

15,745円(本314冊、CD121枚、DVD5枚)

※以下のものは不可となります。

破れや汚れ、書き込みのある本、個人出版、文学全集は換金対象外。CD類ケース割れ、ジャケット、歌詞カード不備、海賊版、個人用、カセットテープやVHSビデオテープも不可。

東アフリカのイナゴ被害が深刻に



「アフリカの角」と呼ばれる東部アフリカのエチオピア、ソマリア、ケニアでは、過去最大規模で発生したイナゴにより、農業に破壊的被害を及ぼしています。このため国連は10億円を超える追加支援を決定しました。このままでは、今後数ヶ月にわたって数百万人もの生活と「食の安全保障」に深刻な打撃となると警告しています。詳しくは、ハンガーゼロ専用ウェブサイト「世界の飢餓ニュース」をご覧ください。

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	
(TEL)	
住所	
申込日	年 月 日 NL 356号

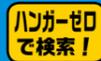
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFHサポーター)として協力します。 毎月()円(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **47150**

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>

eメールアドレス general@jifh.org

フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
愛知 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

Contents

- HOLPFI フィリピン火山被災者支援
三重で災害対策セミナーを開催
- ボリビア:小西スタッフ連載⑭
- ハンガーゼロ活動報告 P.4-5
- ルワンダ 貧困からの脱却に挑戦する農家
- ハンガーゼロを応援...みなさんの広場 P.6-7
- 「バーガーストーキョー」「tabekifu」他



1分間に17人(内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

ボリビア多民族国の母子

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに793156ポイント(円)のご協力(9275件)がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン

HOLPFI

酒井スタッフから報告

火山被災者に緊急支援

1月12日に起きたタール山の火山活動は下火になっていますが、マグマは依然活動しており再噴火の可能性は消えていません。噴火による避難地域は、タール山を中心に半径14kmに設定され、それは1月26日まで続きました。半径5km以内は、火山灰が多く降り積もり火山性地震による影響で多くの箇所が道路が損傷しています。

今までに、13万3,084家族、49万9,929人が被災し、2月13日現在、避難4,422家族(1万5,920人)が107の避難所に、5万4,100家族(19万8,115人)が避難所以外で生活を続けています。

HOLPFIは、最も多くの避難所を統括するサンルイス県の避難所コーディネーターと連絡をとりました。避難民は14,134人、避難所は26カ所、避難所は14km外の学校の体育館があてがわれました。結果として3カ所でご飯とおかず



1品の給食サービスを1月27日2カ所、28日に1カ所実施しました。

1月26日に避難対象地域が半径14kmから7kmに変更になった為、一部の家族が自宅に戻り始めたので、移動する家族に食材の一部を提供しましたが、他の家族が戻る目途はたっていません。

●支援は、郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構 HOLPFIと明記。又酒井スタッフへの継続支援「海外スタッフサポーター」もできます。

「災害対策セミナー」(会場：紀勢チャペル)を開催しました。三重県は東部が全て海岸に面しており、大型地震発生時には津波の想定される地域です。反面西側は山々に囲まれ、災害時には京阪側からのアクセスも容易ではありません。大混乱の中で、教会が災害時に地域へどのように支援の手を伸べられるか、心構えや準備について講義とワークショップを通してみんなで考えました。今後は、地域間ネットワークを深めて、第2回、3回と更に学びを重ねていただきたいと思います。(緊急援助班 伊東綾)

●セミナーについての問い合わせは愛知事務所・黒坂まで

▼参加者の声
▲ 東南海地震への備えが必須の私たちにとって、聖書が語る共生(助け合いの実践)を活動に具体化していくヒントを学ぶ機会になりました。各教会で学びを共有し、地域の教会ネットワーク構築を目指します。
(グレース宣教会紀勢チャペル・今倉守)



出展：INQUIRER.NET Facebook ロウレルタウン/バタンガス州

災害対策セミナーを開催

地域の教会で支援ネット構築をめざす

近年は夏の台風による洪水・浸水被害が続いていましたが、2019年は秋終盤になってからの大型台風到来。九州から東北部の広範囲に亘り大きな被害をもたらしました。国外では、米国や豪州の山火事、フィリピンの火山爆発等、自然災害の規模は大きくなっています。災害は時、場所、人を選ばずに襲ってきます。その時に被害を最小限に抑え、自分と周りの人の命を守る備えをしておくことは必須の課題です。

1月23日、三重県南部にて「災



ラテンアメリカの人々とともに

“11月10日、ボリビアのエボ・モラレス大統領がメキシコに亡命した”との短いニュースが日本で流れたのは、私が一時帰国していた昨年2019年のことでした。詳細は殆ど報道されませんが、私はすでにボリビアの友人たちから現地の写真やビデオ、くわしい情報と祈りの要請を毎日のように受け取っていました。驚く様な状況が、昨年10月から11月にかけてボリビアでは起こり続けていたのです。

事の発端は2019年10月20日に実施された大統領と国会議員選挙の開票手続きに対する抗議活動でした。エボ大統領はボリビア初の先住民族(アイマラ族)出身者として2006年に就任。しかし最長10年(2期)の在任期間が過ぎても辞任しない彼に批判が殺到し、彼の大統領継続を受け入れるか否かの国民投票が2016年2月21日に実施され、継続に対して“不信任”が過半数を占めました。それにも関わらず、彼は権力で法律を改正し在任13年を経た2019年10月の選挙に大統領として3選出馬したのです。

開票システムが突然停止!

当日午後からの開票は対抗馬が優勢、そのまま当選すると誰もが思えた状況でした。私の友人も加わって多くの人々が政府側の不正が無いようにと公開の開票所に詰めかけましたが、警察隊が市民に催涙弾を発射し、開

連載(14)

変わるものと 変わらないもの

票の場に立ち会えないように妨害しました。そしてその混乱時、突然コンピューターの開票システムがストップし、作業は翌朝に持ち越されました。驚くべきことに翌日システムが修復した瞬間、票数はエボ大統領優勢に変わっていたのです。そして25日最高選挙裁判所(TSE)は100%の集計結果を発表し、彼の勝利を宣言しました。

これを受けて反政府派市民が「選挙の無効と大統領辞任」を要求し、抗議活動を展開。私が住むコチャバン



バでは若者たち(14歳~)がバイクと徒歩で抗議を開始。私が出席している教会のすぐそばの小さな広場が、反政府派市民たちの決起集会場所になりました。

全国で政府支持派の群衆が各州の中心部を占拠しようと押しかけ、各地で市民同士の衝突と混乱が起こる中、全国(9州)の国家警察は反政府派を抑圧、手作りの武器で対抗する人々の多くの血が流されました。

私の親しい友人でクリスチャンの女性医師は「私たちは鎮圧されてしまう。大統領の永年の独裁政治が確立され、ボリビア人の人権と自由は奪われてしまう!」と悲痛な思いを抱きながら、それでも必死で負傷した人々の介護を続けました。これらの連絡を受け、私は日本の知人たちにも知らせてボリビアの政情が一刻も早く、正しく鎮静化されるようにと神様に祈り続けました。(次号に続く)



ボリビア多民族国
駐在 小西小百合



Bolivia



環境保全型農業で貧困からの脱却に挑戦する農家の人々

活動地：ルワンダ共和国東部州ガツツィボ郡ニャギハンガコミュニティ・キバレ地区

ハンガーゼロは、FH ルワンダを通してルワンダの人々の農業と収入向上のための活動をしています。以下は2019年10月～12月の報告です。

FH= 国際飢餓対策機構

= 人々が置かれている状況と課題 =

1日に必要なカロリーを摂取できていない人の割合が国全体で36%。そのうえ、ニャギハンガは病気の人や栄養不良の子どもが多く特に支援が必要な地域です。

対象の小規模農家は、農業についての知識や技術、また農具の不足により十分な収量を得ることができないため、家庭での消費にも事欠き、貧困からの脱却が難しい状態にあります。

【対象者】小規模農家100戸（内10戸はモデル農家）
（750坪以下の土地で原始的な農業に数年以上従事）



10戸のモデル農家

【最終目標】2021年9月までに

- コミュニティ全体が必要な食料を確保できるようになり、各家庭の栄養状態と収入が向上され、貧困状態が緩和する。
- 小規模農家が持続可能な農業を行うようになる。
- 地域に既にあるものを用いて土壌を改善し収量を上げ農家の生活を改善する仕組み（=Farming God's Way）を実践して継続的に生活を改善していけるようになる。

【農業及び収入向上のためのプロジェクト目標】

1. プロジェクト参加者（農家）の収量を上げる。
2. 年間を通して安定した収量をあげる。（端境期に飢えることがないようにする）

実施活動報告（2019年10月～12月）

①貯蓄グループのフォローアップ

農家100戸が5つの貯蓄グループを形成し、2018年12月から1年間活動。利息を含めて清算したところ、平均で一人14,500ルワンダフラン（約1,700円）を受け取ることができました。メンバーはその半分を家族の健康保険（政府が推奨）の支払いに充て、残りの半分で家畜や食器を購入し、それぞれの家庭の課題解決に取り組んでいます。

②新しいキャッサバ栽培の方法についてのトレーニング

モデル農家10戸を対象に、以下の内容で10月28日にトレーニングを実施、学んだことを他の農家に伝え一緒に実践しています。※写真⑤⑥

- 土壌に合うキャッサバの栽培、品種・植え付け、肥料、収穫と保管。キャッサバにつく害虫と病気。



③従来型農業について考え環境保全型農業の重要性を知るための啓発

以下の従来型農業の問題点について11月26日に啓発キャンペーンを実施。

- 土壌の構造や土性を壊す、土壌の生物量を減らす、土壌微生物を死滅させる。
- 水源を汚染する（農薬など）、土壌劣化を引き起こす、生物多様性を破壊する。

参加者全員が自分の土地と回りの環境を保全することを表明し、これまでに60名が、マルチ栽培や堆肥作りなど学んだことを実践しています。

④苗木の配給

12月19日にキャッサバ63,000本、グレビリア2,000本、アボカド600本、マンゴ600本をプロジェクト農家に配給。果物の摂取による栄養不良の改善も期待。

⑤ Farmer Field School（グループで学び実践していく農業）についてのトレーニング

12月17日にモデル農家10戸を対象にトレーニングを実施。参加したモデル農家は、学んだことを共有し来シーズンから他の農家と共に実践に移します。

⑥堆肥作りのトレーニングを実施

モデル農家10戸が堆肥の作り方と以下のような堆肥のメリットについて学びました。

- 土壌が肥沃になる
- 土壌温度や土壌酸性度を調節する



啓発キャンペーンで学ぶ農夫



堆肥作りトレーニング

栄養不良、食料確保において成果が見えてきた

- 土壌の保水力を上げ、水の浸透性を高めることができる参加者が学んだことを共有し、これまでに30カ所以上で堆肥作りが実践されています。

⑦家畜プロジェクト（昨年度）のフォローアップ

2019年5月（昨年度）に60戸の農家に山羊（写真⑦）、40戸の農家に豚を配給。

家畜の糞は堆肥作りに利用され、作物の収量を上げるのに貢献しています。これまでに山羊20匹、豚15匹が種付けに成功。更なる生活改善が期待されています。



【成果】

- 栄養不良の改善や食料の確保において、対象の人々の生活状況が改善してきています。
- ビジネスマインドの育成においても希望の兆しが見えています。

今後の活動予定（2020年1月～3月）

- アグロフォレストリーのトレーニング（モデル農家から他の農家へ）
- 新しい豆の栽培方法のトレーニング（モデル農家から他の農家へ）
- 家庭菜園作りのトレーニング（モデル農家から他の農家へ）
- 家庭菜園のための野菜の種の配給
- 豆の種の配給
- 農具の配給


イエス・キリスト エクレシア
よろこび研究会

真理はあなたを自由にします。 ヨハネ福音書8章32節
 — この御言葉を中心として「よろこび」を学んでいます —



毎月新たな聖書箇所を読み、お一人お一人の状況に照らしてメッセージをしていきます。初めての方でも大丈夫です。共に学び、よろこびを探求しましょう。
メッセンジャー：奥田英男 【参加自由・無料・席上献金有り】

真理のことばで“よろこび”をお届けしています。

- ① 聖書、みことばをわかりやすく
- ② 日常生活に適用できるように
- ③ より実践的に

<http://yorokobi-lab.com/>
 Info@yorokobi-lab.com 042(553)0511（オクダ建設内）

※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは大阪事務所・碓井まで

Hunger Zero を応援して下さる皆さんの広場



バーガーズ
トーキョー



のslamにある学校「シープケアセンター」の給食1食分(30円)を「ハンガーゼロ」を通して支援する仕組みを導入したことです。

Q 給食支援を考えたきっかけは？

東日本大震災で石巻にあった実家が津波で流されました。幸い家族は無事でしたが何もかも失う体験と、また多くの人に助けられたことが、私自身の生き方を変えました。そのことが世界で飢餓に苦しむ人を助けたいという原点になっています。

Q これまでの反響はどうでしたか？

まだ始めたばかりですが、これまでに30誌以上のメディア(雑誌、TV、ウェブ)から取材を受け、東京発の「サステナブルな」ハンバーガーカルチャーとして紹介頂いています。今は1号店ですがこれから店舗を増やし、食べることで世界の飢餓対策になる仕組みを日本だけでなくアジア、アメリカまで広げていきたいと思っています。できれば一店舗ごとに世界のこと繋がっていますよと言えるような1対1で顔が見える支援をしていきたいと願っています。応援ください。

BURGERS TOKYO
www.burgerstokyo.com



東京から「サステナブルな」ハンバーガーカルチャーを発信

原点は東日本大震災での被災体験

2019年10月に東京・下北沢にハンバーガーショップ「BURGERS TOKYO(バーガーズトーキョー)」がオープン。ブランドオーナーの新田拓真さんにお話を伺いました。

Q バーガーズトーキョーが他店と違う点は？

まずはステーキのような肉感が楽しめるボリュームたっぷりのバーガーであること。次に東京発のシティカルチャーを店から発信すること(トーキョーで活躍するアーティストやブランドとのコラボ、カルチャーイベントの開催)。そして最後に食を通して、お客さまと世界の飢餓改善に取り組む人々を繋ぐため、バーガーが1つ売れるごとにケニアの首都ナイロビ



ロングライフは、「ヘルス&ナチュラルビューティ」みなさまに「健康」で「美しい」人生を送っていただくためのラグジュアリーなサービスをご提供いたします。

私生活を健やかに愉しむ。
好きなことを楽しんでいただくために、パーソナルな健康メニューなどで、一人ひとりの健康を日々サポート。

食から人生をより豊かに。
旬の食材を使って作る美味しい料理は、最新の科学に基づいた栄養学に基づき、人生100年時代のための食事をとる。

年齢を重ねてこそ美しく。
いつまでも自分らしく輝き続けるために、パーソナル健康ケアサービスなどで、人生そのものを、もっと健康に美しく。

皆様へのセカンドライフに寄り添い35年

私たちがロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

国内外268のサービスステーションを展開
人生は、まだまだ楽になる。

ロングライフグループ Resort & LongLife
大坂本社：〒530-0015 大坂市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階
東京本社：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

☎ 0120-550-294

ロングライフで、もっと素適に！ずっと楽しく！

Health & Natural Beauty



「食べる」と「寄付」を繋げる

『tabekifu』

(株) tabekifu 代表 坂入千佳

2019年11月のiOSアプリ発表以来、小学生から大学生、社会人まで多くの反響を頂きました。ボランティアやインターンをしてみたいという方や、加盟店開拓パートナーのお申し出など、フードロス削減しようという熱い想いを持った方々が多くいらっしゃることを実感し、嬉しく感じています。店舗掲載数はまだ30件ほどですが、これからさらに増やしていきたいと思っています。

tabekifu(タベキフ)の特徴である社会貢献の可視化についても、現在はアプリの利用がベースですが、これから



ハンガーゼロでは、未来を担っていく世代に世界の現状を知ってもらい、無関心ではなく「わたしにできること」を見つけて欲しいと願って、幼稚園から大学までスタッフがかけて出前授業を行っています。授業は幼稚園から大学まで年間で70校前後で実施しています。

【生徒から寄せられた感想文】

東大阪市：小学校6年生 食べ物をむだにはいけない
「飢餓」は私たちにはあまり関係のないことだと思っていたけど、チョコレートの話や日本の人が食べ物をどれだけ無駄にしているかなどを聞き、私たちにも関係のある事なんだと思いました。世界にはこんなにも食べ物がなくて困っている人がたくさんいるのに、食べ物をむだにするのはいけないと思いました。私たちはどれだけ恵まれているのかもわかりました。1人でも多く助けるために私もできる事をやろうと思いました。

木津川市：中学生 命を捨てているのと同じなんだ

「食品ロス」とかがあるのは知っていたけど、今日やったような詳しいことは知りませんでした。また、食べ物が無い国には食べ物を送ったり、お金をおくったりしたらいいやん!とっていました。だけど今日それだけではこの問題



は各地で行われる食に関するイベントへの参加も進めていきます。そしてtabekifuを通して一人ひとりの“良いおこない”が可視化され、社会や人々から評価される、そんな社会を作っていきたいと考えています。

■ Hunger Zero から

このアプリでは、注文時や商品受取り後にSNSで料理画像をシェアする際、寄付先を選んで寄付できるようになっています。ご利用の際はぜひ『ハンガーゼロ』をお選び下さい。

『tabekifu』アプリ利用について
<https://tabekifu.co.jp/guide>

の根本的な解決にはならないということ学びました。確かにそれだけではいつまでたっても自分たちで自立することができないなあと思いました。また毎日自分たちが残している給食やお腹いっぱい残したごはんなどは、本当に命を捨てていることと同じだなあと実感しました。

1分間に17人もの命が失われることをちゃんと頭の中に入れて過ごしたいと思いました。今の自分の幸せを感じて少しのお金でも募金することやごはんを残さないなど自分にできることからしっかりやっていきたいなあと思いました。

先生から 身の回りの生活に目を向ける機会に

今回の学習は、生徒一人一人にとって、人権尊重の精神を基盤にして、諸外国の情勢について知識を深め、国際社会と身の回りの生活に目を向ける態度を育成する貴重な経験となりました。

摂津市：中学生 自分にできる事を考え、実行したい

私たちの暮らしとアフリカ地域の環境の差、食べ物、水の大切さありがたさを学ぶことができた。一日の生活を振り返り、自分にできる事を考え、考えるだけでなく実行できるようにしたいと思う。

戦争の中で生まれ、戦争の中で成長し、戦争の中で死んでいく。平和という言葉が知らずに…という言葉が残りました。チョコレートも安いのは嬉しいけど、裏ではそういう状況だったことが知れて良かった。